

■横浜ゴム株式会社 2014年夏期インターンシップ テーマ一覧

①研究開発系コース

NO.	系統	テーマ名	実習内容	学科専攻/必要なスキル	人数	実施期間	実施場所
1	機械・物理・情報	航空部品事業部での製品開発のための設計情報探査	製品のスペック（設計変数）と特性値（目的関数）との因果関係を構造的に可視化し、そこから設計に役立つ情報を探し出す	技術系（機械・物理・情報系が好ましい）。プログラミング言語、スクリプト言語やR言語の知識があればなお可	1名	8月25日（月）～9月12日（金）	平塚製造所内 （神奈川県平塚市）
2	物理・機械	熱伝播シミュレーションによるタイヤ製造品質の改善	熱伝播シミュレーションを用いてタイヤ製造中の熱伝播状態を予測し、目標温度で製造するための最適条件を提案する	理系学生（物理、機械的知識のある方が望ましい）	1名		
3	化学・材料	蓄電池材料の評価・解析	電極作製、セル組み込み、充放電評価、解析を行う	応用化学、電気化学、電池材料を取り扱っている研究室出身の方	1名		
4	化学・材料	放射光を利用した実験データの解析	タイヤ用ゴム材料を対象とした、X線回折・散乱実験データやXAFSデータの解析を実施し、解析結果をまとめ、レポートを作成する	ゴム材料の放射光実験に興味のある方。回折・散乱、XAFSデータの解析経験者が望ましい。未経験の方でも可	1名		
5	化学・材料	溶液中のタイヤ用原材料反応解析	タイヤ用配合剤を有機溶媒中で反応させ、生成物の構造決定/反応機構の解析を行う	有機化学系大学院生あるいは学部生（有機合成経験者が好ましい）	1名		
6	化学・材料	コンパウンドの変形過程におけるナノ構造変化の観察	走査型プローブ顕微鏡でみたコンパウンドのナノ構造変化を解析しまとめる	理系専攻、高分子科学やプローブ顕微鏡に興味があればなお良い	1名		
7	化学・材料	ゴムの気体分散性メカニズムの検討	X線イメージングによるゴム内での気体分散画像の解析を実施しゴム中における気体の分散メカニズムを検討する	理系学生（高分子化学、物理化学に興味のある方が望ましい）	1名		
8	化学・材料	ゴムラテックス系粘着剤の配合開発	ゴムラテックス系粘着剤の安定性に寄与する配合剤や製造法の改良案を、試作から性能評価までの一連の流れを実習しながら提案する。	化学系の大学院生または学部生	1名		
9	化学・材料	フィラー充填ゴム材料におけるゴム分子運動性解析	様々なフィラー充填ゴム材料の分子運動性を測定していただき、結果をまとめてレポートを作成していただきます。	ゴム材料に興味のある方。分析装置の使用や高分子材料実験・解析を実施された経験のある方が望ましい。未経験の方でも可	1名		
10	化学・材料	ゴム材料のラジカル生成及び安定性評価	様々なゴム材料の熱により発生するラジカル量を測定していただき、その生成と安定性について結果をまとめてレポートを作成していただきます。	ゴム材料に興味のある方。分析装置の使用や高分子材料実験・解析を実施された経験のある方が望ましい。未経験の方でも可	1名		
11	化学・材料	自動車用接着剤および電材関係の研究開発	接着剤の研究開発において、配合および評価方法の実習を通して、企業におけるR&Dの一端を理解してもらう	化学系大学院在学中の方	1名	ハマタイト工場 （神奈川県平塚市）	
12	化学・生物	天然由来のゴム材料の調査研究	タイヤに現在使用されている、あるいは今後使用が期待されるゴム材料素材についての調査と生化学的な分析を通して原料特性を把握する	生物化学と有機化学の知識、実験経験がある方が望ましい	1名	平塚製造所内 （神奈川県平塚市）	

②生産技術系コース

NO.	系統	テーマ名	実習内容	学科専攻/必要なスキル	人数	実施期間	実施場所
1	機械・電気	横浜ゴムのものづくりを支える制御技術コンペティション運営体験	（前半）課題に沿った制御装置のハードウェア及びソフトウェアを当社技術者とともに作成し評価と改善を実践する。 （後半）社内イベント『技能オリンピック』の運営。 ※詳細はリクナビ2016の横浜ゴムページ参照	電気系・機械系専攻の方が望ましい。 グローバルな環境で働くことに興味がある方。	4名	前半：8月上旬 後半：9月8日（月）～9月12日（金）	平塚製造所内 （神奈川県平塚市）